

## 県民文化大賞に 松山踊音頭保存会



地域の文化の創造・継承に努める団体・個人を顕彰する「おかやま県民文化大賞」に松山踊音頭保存会(川上知之会長)が選ばれました。同保存会は長年にわたり松山踊りを盛り上げるとともに、県内外でのイベントなどにも参加し、また小学生を対象とした子ども音頭の実施など後継者育成にも積極的に取り組むなど、文化の継承・普及に貢献されていることが評価されました。

## 教育委員会表彰に

### 前高梁公民館長 黒瀬官治さんと 平川渡り拍子保存会



11月25日に文化交流館で行われた表彰式

教育や文化、体育の振興などに功績があった、個人や団体に贈る平成17年度の高梁市教育委員会表彰に前高梁公民館長の黒瀬官治さん(77)・八幡町Ⅱと、平川渡り拍子保存会(備中町・平木宗夫会長)が選ばれました。

黒瀬さんは、平成4年に高

梁公民館長に就任し、今年3月まで務め、地域の公民館活動の推進、生涯学習の振興に尽力されました。平成9年からは高梁中央公民館長を兼任し、備北地区公民館協議会会長、岡山県公民館連合会副会長等の要職を歴任。社会教育活動全般に多大な貢献をされました。

平川渡り拍子保存会は、郷土の伝統芸能の衰退を防ぐことを目的に、昭和62年に発足。保存伝承活動として各地区の郷土芸能発表会等で公演を重ねるとともに、県内外のイベントにも多数出演。市重要無形民俗文化財の保存活動と地域文化の振興に積極的に取り組まれています。

平成17年度農事功労者表彰(主催：社団法人大日本農会、総裁：桂宮宜仁親王殿下)緑白綬有功章を田上義郎さんが受章されました。

田上さんは、川上町役場を退職後、昭和61年地元農家と上組営農実行組合を設立しました。生産した野菜などを自分たちの「ふるさと市場」で販売。県南からも訪れる消費



田上義郎さん  
(78)  
川上町高山

## 農事功績者に 田上さん

者から「無農薬の野菜を」との声がかかるようになり、昭和63年、岡山県初の有機無農薬生産集団を立ち上げました。以来一貫して有機無農薬野菜にこだわり、生産しています。

平成8年には高梁地域有機無農薬農業推進協議会(現「有機で元気たかはし村」)会長、同16年からは、おかやま有機無農薬農業連絡協議会会長としても活躍中です。

田上さんは「有機農業は土づくりが大事。苦労しましたが試行錯誤し、今は自信ができました。今後は栽培技術の向上や販路の確保等を確立し、専業でやれる有機農業を目指し、後継者を増やしていきたい」と意欲満々です。

## 「地域再生計画」 認定される

「地域再生計画」の認定書授与式が12月6日総理官邸で行われ、小泉総理から秋岡市長に渡されました。これは、地域が自主的・自立的な取り組みを行い、地域活力の再生が見込まれる市町村事業について、国がその計画を認定し財政的な支援を行うものです。

今回の計画では、下水道と浄化槽の整備事業に活用することになっています。



# 入賞者決まる 第1回 高梁市文学選奨

第1回高梁市文学選奨の入賞者が決まりました。前年度まで22回を数えた旧高梁市文学選奨を引き継ぎ、対象地域を全市に広げました。

6部門56点の中から、入選6点、佳作14点選ばれました。入賞作品は、小冊子「高梁の文学」として発刊し、童謡作詞部門入選作品は、曲を付けて来年の童謡まつりで発表する予定です。

## ◆各部門の入選と作品名

(敬称略)

▽小説・随筆等：八木敬彬(64) 落合町原田 旅で出会ったひょうたんの形をした狩野探幽のお墓▽詩：角瀬君子(66) 中井町西方 晩秋に寄せて▽短歌：平井三樹三(85) 荒神町 老いの日々▽俳句：妹尾昌美(70) 東町 旅▽川柳：福森さだ

こ(81) 落合町近似 母▽童謡作詞：佐藤健太(30) 南町 宇宙のパン屋  
◆各部門の佳作(小説・随筆等の佳作は該当なし)  
▽詩：(一席)中村房枝(玉川町玉)、(二席)鹿田サダ子(成羽町成羽)▽短歌：(一席)藤原富治(御前町)、(二席)辻良子(東町)、(三席)田中晴江(落合町阿部)、(四席)柳井明好(成羽町成羽)▽俳句：(一席)藤田和恵(成羽町下原)、(二席)官尾輝子(成羽町下原)、(三席)柳井富美江(成羽町成羽)▽川柳：(一席)西井武雄(落合町近似)、(二席)妹尾昌美(東町)、(三席)小見山由希子(落合町近似)▽童謡作詞：(一席)森岡定子(高倉町田井)、(二席)西村毅(中井町西方)  
■問い合わせ 社会教育課文化係(☎9083)

## 《詩部門》



角瀬君子さん

## 《小説・随筆等部門》



八木敬彬さん

## 《俳句部門》



妹尾昌美さん

## 《短歌部門》



平井三樹三さん

## 《童謡作詞部門》



佐藤健太さん

## 《川柳部門》



福森さだこさん

# 第3回 清水比庵大賞 (短歌の部) 決まる



大賞を受賞した 津吹節子さん

歌・書・画の三芸に独自の境地を開いた本市出身の名誉市民・清水比庵(1883~1975)にちなんで、高梁比庵会が公募していた「清水比庵大賞・短歌の部」の入賞作品が決まりました。大賞には、栃木県鹿沼市在住の津吹節子さん(65)の作品「木枯らしは吹きつりのゆくすき穂の千の白狐を追い立てながら」が選ばれました。同賞は、清水比庵の偉業と足跡を顕彰するとともに、優

れた短歌を広く募集して文化の振興に寄与する目的で創設されています。今回は、海外を含む全国各地から1148首の応募がありました。大賞以外の主な入賞者として、次のとおり。(敬称略)

### 【特選】

高梁市長賞

篠崎駒雄(75) 広島市

海中に大粒の牡蠣育てつつ

大野の瀬戸に筏たゆたう

高梁比庵会長賞

目黒順子(61) 東京都品川区

鋭き音をたてて一房ぶどう

剪る熟せしものの重み双手に

### 【奨励賞】

村上敏子(71) 栃木県矢板市

十キロの梅干し上げて夏の

陽を宝のごとく糞に漬け込む

高田庸子(71) 東京都府中市

いっぱい窓辺に五月の風

入れてエンディングプラン

の見直し終える

森岡豊秋(72) 東京都大田区

白球の描く弧を追ふ外野手

はひらりと秋の光りを掴む

■問い合わせ 高梁比庵会事務局(文化交流館内)☎01

80)